

# 風水害時の行動基準



気象庁から港区に

**大雨/洪水/暴風/暴風雪 警報** 発表時

港区から麻布台地域に

**避難指示** 発令時

**臨時休校・自宅待機**

- 居住地や通学経路において上記警報、避難指示があるときも、原則遅刻・欠席扱いにはしません。
- 鉄道の計画運休があるときや大幅な混乱にあるときも、原則遅刻・欠席扱いにはしません。
- 在校時は、警報解除／安全確認できるまで、校内待機。
- 立退き避難は早めに決断する必要がありますが、立退きがかえって危険になるときは、屋内での垂直避難等により安全確保を図ります。



# 気象警報



- 災害対策基本法に基づき、住民への避難指示は市町村が発令します。気象庁は注意報・警報の発表をします。



気象警報サイト

## 市町村発表

## 気象庁等発表

避難情報		警戒レベル	気象警報	指定河川洪水予報
緊急安全確保	5	警戒レベル4までに必ず避難！	大雨特別警報	氾濫発生情報
避難指示	4		土砂災害警戒情報	氾濫危険情報
高齢者等避難	3		大雨警報 洪水警報	氾濫警戒情報
	2		大雨注意報 洪水注意報	氾濫注意情報
	1		早期注意情報 (警戒級の可能性)	※ 青破線は警戒レベルに相当する気象庁等の情報

## ● 特別警報・警報・注意報の種類

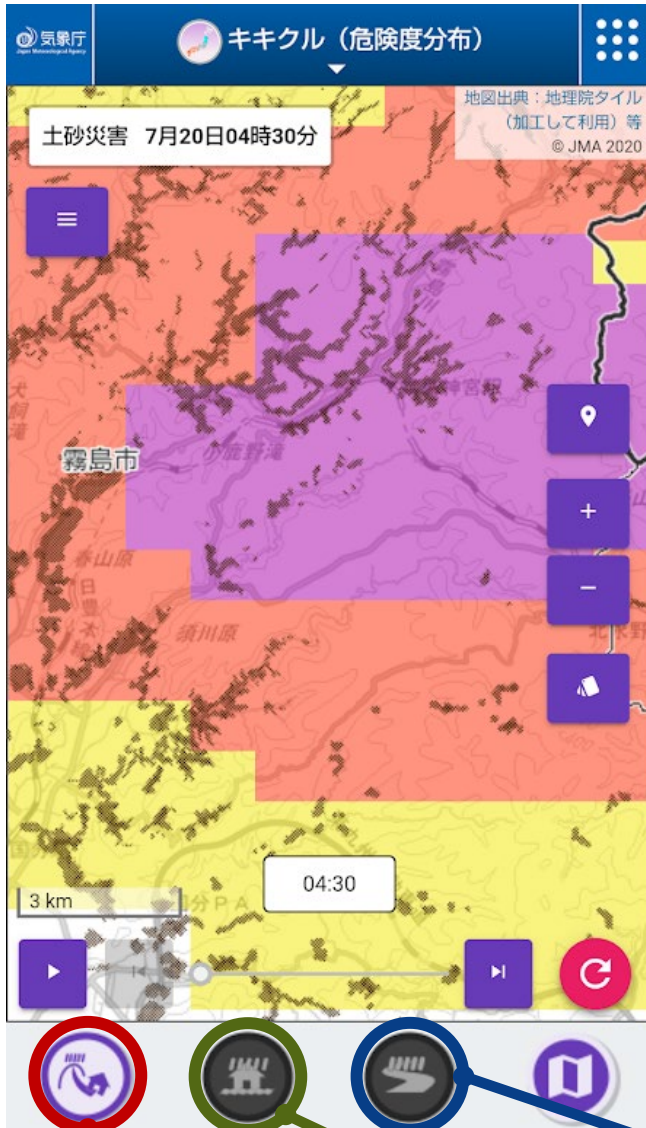
特別警報	大雨（土砂災害、浸水害）、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮
警報	大雨（土砂災害、浸水害）、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮
注意報	大雨、洪水、強風、風雪、大雪、波浪、高潮、雷、融雪、濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜、着氷、着雪
早期注意情報 (警報級の可能性)	大雨、暴風（暴風雪）、大雪、波浪、高潮



# キキクル



気象庁 キキクル



- 気象庁のキキクル（危険度分布）は、大雨によって、どこで、①土砂災害、②浸水害、③洪水災害の危険度が高まっているかを、リアルタイムで、地図上に表示します。
- 紫色は「危険」を意味し、ハザードマップ上のリスクの高い場所において、キキクルで「危険」（紫色）が迫っている場合は、すみやかに安全な場所へ避難します。

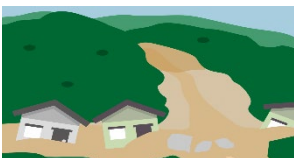
災害切迫

危険

警戒

注意

土砂災害



浸水害



洪水災害



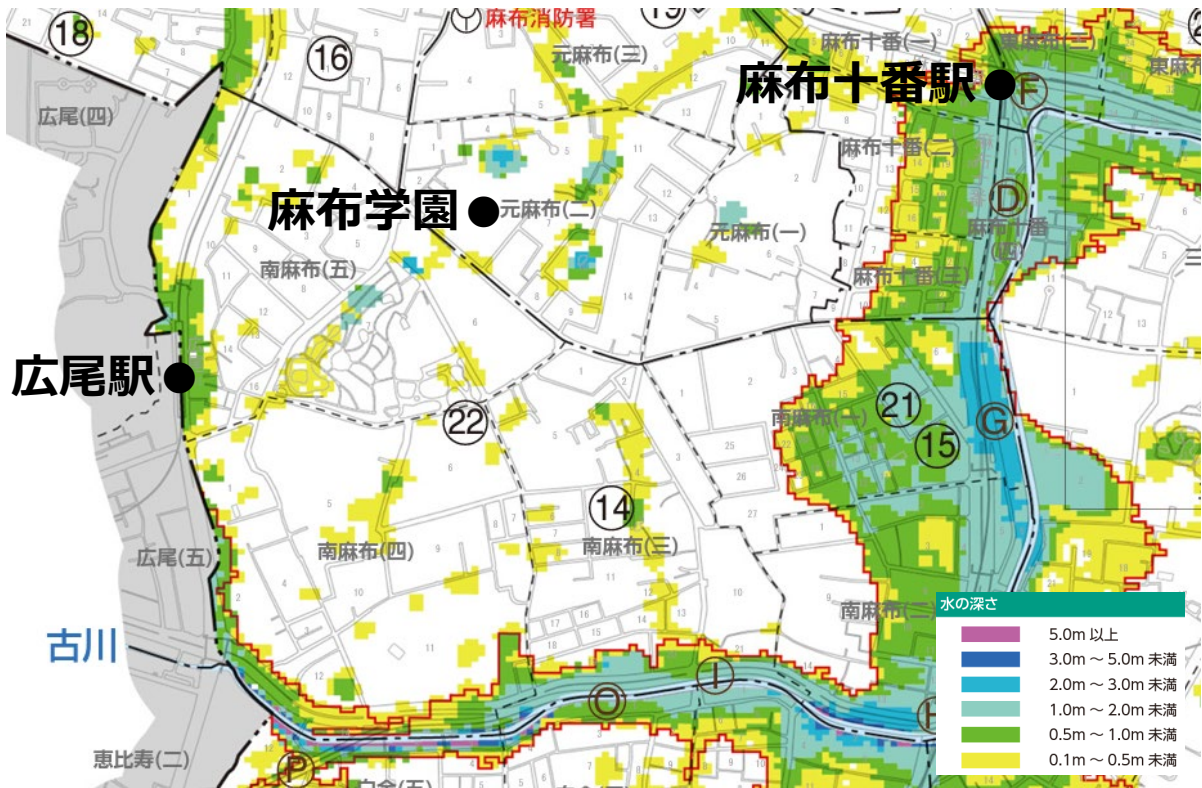


# 浸水ハザードマップ



港区 浸水ハザードマップ

- 広尾駅や麻布十番駅は、古川が氾濫すると浸水するリスクがあります。2004年台風22号では、南北線麻布十番駅が浸水しました。



重ねるハザードマップ

- 洪水・浸水ハザードマップは、国土地理院の「重ねるハザードマップ」や自治体ウェブサイトへ。







# 土砂災害警戒区域



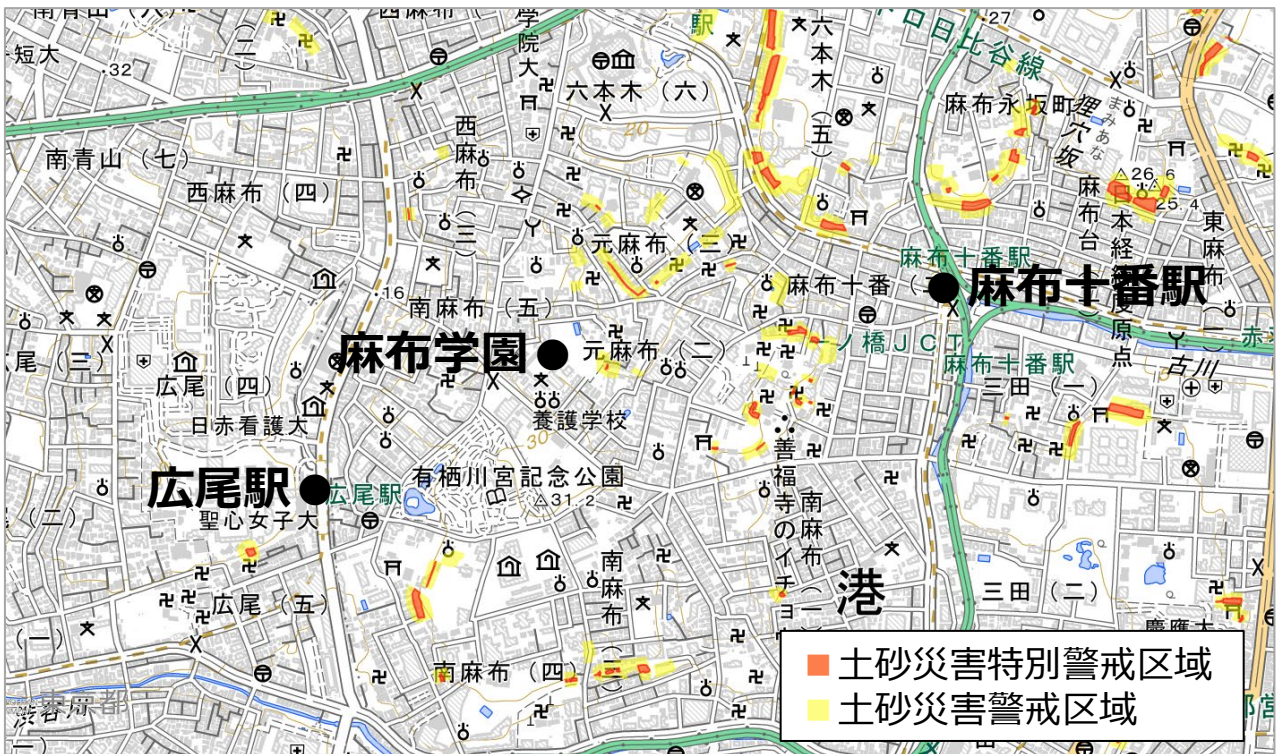
土砂災害警戒区域外の避難場所へ

土石流 がけ崩れ・地すべり

- 都道府県と気象庁が「土砂災害警戒情報」を発表する状況では、土砂災害警戒区域から立退き避難を図ります。
- 学園グラウンド北東部、および、学園から麻布十番駅にかけて土砂災害警戒区域が点在します。




東京 土砂災害警戒区域等マップ

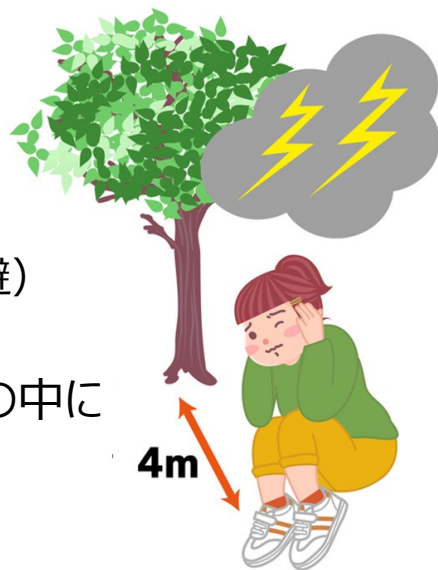




# 集中豪雨・ゲリラ豪雨

発達した**積乱雲**の下では、急な大雨、雷、雹、竜巻などの激しい突風が発生します。

- 黒雲の接近・雷鳴・急な冷たい風に気付いたら、すぐに**屋内へ待避**
- **河川**から出る・離れる（都会の川：**50mm/時**で氾濫）  
（2008年都賀川水難事故：約2分で水位が1 m上昇。5人が犠牲）
- **地下**への水の流入に注意  
（1999年福岡・天神地下街が浸水。1名が犠牲）
- **アンダーパス**や**浸水箇所**を通行しない
- **雷鳴**時は建物の中へ即避難  
間に合わない場合は、
  - ①木や電柱から4 m離れる（即撃雷回避）
  - ②姿勢を低く、地面との接地面を最少に
- **竜巻**の危険があるときは、頑丈な建物の中に待避し、屋内でも窓や壁から離れる
- インターネットで現在の降雨・雷・竜巻の情報を確認 



[気象庁 雨雲の動き](#)





# 多摩川グラウンド

- 集中豪雨による内水氾濫でも周辺は浸水



- 大規模地震ならば延焼火災に留意

